



沢地小だより

第1号 令和2年4月7日



～ 満開の桜のもと



令和2年度 沢地小学校が新たにスタートしました ～

令和2年度が始まりました。新1年生41名を迎え、全校273名の子どもたちが希望を胸に、新たな生活をスタートしました。新型コロナウイルス感染症の影響で大変な毎日ですが、子どもたちの瞳は、入学や進級の喜びと意欲に満ちあふれ、輝いています。

今年度も、273名全員が、「学校が楽しい」「学ぶことが楽しい」と思えるように“個を大切にし、どの子にも居場所がある学校”を全職員一丸となって目指していきます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今年度も「学校、家庭、地域が一体となった学校づくり」にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

《令和2年度》

【学校教育目標】 共に学び 生きる やさしい子



<重点目標> 「徳」互いに認め合い 支え合おう
「知」自分の考えをもち 学び合おう
「体」元気な心と体をつくろう



<学校経営目標> 「個を大切にし、どの子にも居場所のある学校」

学校経営の重点

☆達成目標：年度末学校評価児童アンケート

☆学校が楽しい《安全・安心》

☆学校が楽しい 95%

一人一人を大切にしたいきめ細やかで、温もりのある教育の実現
主体的、自治的能力の育成を目指した特別活動の充実

☆学ぶことが楽しい《学びの充実》

☆授業が分かる 90%

主体的に学ぶ力、他者と対話を通して学ぶ力を高め、生きて働く学力を身につける
新学習指導要領で目指す資質・能力の育成

☆みんなで学校を創る《主体的・協働的・創造的に》 —チーム沢地— ☆重点目標を目指す 90%

学校の組織的実践力（学校力）を向上させる —学び合い 支え合う 職員集団—
学校、家庭、地域が一体となった学校づくりに向け、地域力を最大限に生かす

～「ありがとうと言える子」・「ありがとうと言われる子」～

始業式において沢地小の子どもたちに、「ありがとうと言える子」・「ありがとうと言われる子」になろうという話をしました。本校では「互いに認め合い 支え合おう」を学校教育目標の重点として位置づけています。自分も含め、他者のよい点を認め、尊重し合える心を育みたいと考えています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策で、子どもたちにとっては窮屈な学校生活が予想されますが、こんな時だからこそ、子どもたちの「自己肯定感」や「思いやりの心」を今まで以上に大切にしていきたいと考えます。ご家庭におかれましてもご理解・ご協力をよろしくお願い致します。